海外事情 世界の土砂災害（第17回）2015／4／1～2015／9／30

発生日	国名	種別	概要
2015年4月1日	インド	崩壊	パキスタン国境に近い北部のジャンムー・カシミール(Jammu and Kashmir)州クプワーラ(Kupwara)県の国道沿いで、豪雨によりいくつかの崩壊が生じ、18名が死亡した。周辺はヒマラヤに近い急峻な地形を呈し、道路沿いに家が集中する傾向にあり、そこを土砂が襲ったもの。
4月23日	アフガニスタン	地すべり	北東部のバダクシャン(Badakhshan)州カワハン(Khawahan)県ジェロ·バラ(Jero Bala)村にて、夜半の0:30頃、地すべりが発生して約100軒の家屋を埋め、少なくとも52名(男性5名、女性25名、子供22名)が亡くなった。また、26日にもさらに背後の斜面が崩落し、120軒の家屋が被害を受けたが、更なる人的被害はなかった。春の融雪期を迎え、約90cmの雪が溶けたあと、前日の日中には64cmの雪が溶け、これが引き金となったとみられる。周辺では2014年にも地すべりが発生し、300名が亡くなっている。
4月25日	ネパール	地震 雪崩 崩壊	午前11時56分に首都カトマンズ(Kathmandu)の北西81㎞を震源とするM7.8の地震が発生し、カトマンズ盆地やシンドゥパルチョーク(Sindhupalchok)郡を中心とする広い地域で建物の倒壊が相次ぎ、物的被害に加え、8,460名(ネパール国内)の人的被害を出した。ソルクンブ(Solukhumbu)郡のエベレストベースキャンプ(Mt. Everest Base Camp)では、雪崩が発生して登山隊のテントを襲い、19名が巻き込まれて亡くなった。広い地域の至るところで斜面崩壊が発生し、道路の断絶や河道閉塞が多く生じたが、なかでも、カトマンズから北へ55km、バグマティ(Bagmati)県ラスワ(Rasuwa)郡のランタン(Langtang)谷では、人気のトレッキングルート上のランタン村が大規模な崩壊により村ごと埋塞された。家屋60軒に200名の人が居住し、多くのトレッカーが訪れていたと思われるが、元々車道が通じておらず、重機は入れられないため、捜索は打ち切られた。
4月27日	ブラジル	崩壊	北東部にある大西洋沿岸の町バイーア(Bahia)州サルバドール(Salvador)で、26日から降り続いた豪雨により、27日未明に2箇所で斜面が崩壊して住宅を埋め、合わせて14名が亡くなった。
5月5日	インドネシア	崩壊	西ジャワ(West Jawa)州バンドン(Bandung)準州パンガレンガン(Pangalengan)県マーガムクティ(Margamukti)村チビトゥン(Cibitung)地区にて、14時頃に地すべりが発生し、7名死亡、12名重軽傷、2名が行方不明となった。
5月18日	コロンビア	崩壊	北西部アンティオキア(Antioquia)州サルガル(Salgar)町サンタ・マルガリタ(Santa Margarita)地区にて、数日続いた豪雨により、午前3時頃に崩壊が発生、土砂はリボリアナ(Liboriana)川に流れ込み、氾濫して地区の31軒の家屋が全て埋まり、少なくとも84名が死亡、40名が負傷した。
5月20日	中国	崩壊	貴州(Guizhou)省貴陽(Guiyan)市海馬冲(Haima Chon)街で、8階建てのマンションの裏山が崩れ、山側部分が倒壊した。これにより16名が死亡した。
6月5日	マレーシア	地震 落石	ボルネオ(Borneo)島サバ(Sabah)州の州都コタキナバル(Kota Kinabalu)の東方54㎞を震源とするM6.0の地震により、キナバル(Kinabalu)山で落石が発生し、16名が死亡し、2名が行方不明となった。また登山道の崩壊により137名の登山者が足止めされたが、無事救出された。
6月11日	ネパール	崩壊	雨期に入ったネパール東端のメチ(Mechi)県タプレジュン(Taplejung)郡内の多くの場所で山腹崩壊が多発し、53名の死亡が確認されたほか、多くの行方不明者が出た。被害が最も大きかったリンテップ(Lingtep)村では20名の死者を出した。またリンテップ(Lingtep)村、リバン(Libang)村、トクリン(Thokling)村、ティンラブ(Tinglabu)村、リンケット (Lingket)村で人的被害が生じた。
6月21日	ジョージア	土石流	首都トビリシ(Tbilisi)近郊のアカルダバ(Akhaldaba)村で豪雨により山腹崩壊が生じ、100万㎥程の土砂が、村内を流れるヴェレ(Vere)川を堰き止めた。これが決壊し、トビリシ市内で氾濫、19名死亡、2名行方不明、457名が負傷した。市内動物園では多くの動物が溺死した。
6月24日	ベトナム	土石流	台風8号(Typhoon Kujira)が北部に上陸して豪雨をもたらし、北西部の山岳地帯のソンラ(Son La)省で土石流が発生した。これにより11名が死亡、1名が行方不明となった。
7月1日	インド	崩壊	モンスーンの降雨により西ベンガル(WestBengal)州ダージリン(Darjeeling)市と周辺のミリク(Mirik)、カリンポン(Kalimpong)で崩壊が発生し、38名が亡くなったほか23名が行方不明となった。
7月28日	ベトナム	崩壊 土石流	東北部の中国国境に位置するクアンニン(Quan Ninh)省の各地で、26～28日にかけて500～870㎜の雨があり、斜面崩壊や土石流により17名が死亡、6名が行方不明となった。
7月30日	ネパール	崩壊	アンナプルナ(Annapurna)山塊の南側にあたる、ガンダキ(Gandaki)県(Zone)カスキ(Kaski)郡(District)と、隣接するダウラギリ(Dhawalagiri)県ミャグディ(Myagdi)郡で、29日昼頃からの驟雨により至る所で崩壊が発生し、33名が死亡したほか、多くの人々が行方不明となった。カスキ郡では、ルムレ(Lumle)村で19名、バダウレ・タマギ(Bhadaure Tamagi)村で5名、ディクール·ポカリ(Dhikur Pokhari)村で2名が亡くなったほか、10名が行方不明となった。 ミャグディ郡では、ムディ(Mudi)村とムナ(Muna)村で合わせて7名が亡くなった。ミャグディ郡では4～5月の地震以来、崩壊が頻発しており、5月24日に発生した崩壊の土砂がガンダキ川(Kali Gandaki)を一時堰き止め、被害はなかったものの、住民数千人が避難した。
8月2日	インド	崩壊	ミャンマー国境に近いマニプル(Manipur)州チャンデール(Chandel)県ゾウモアル(Zoumoal)村で数日間続いた豪雨により崩壊が発生、20名が亡くなった。
8月12日	中国	崩壊	数日間続く豪雨により、陝西(Shaanxi)省商洛(Shangluo)市で、鉱山周囲の山腹斜面が崩壊し、鉱山会社従業員寮15棟と住宅3棟を押し流し、64名が死亡した。
8月24日	フィリピン	崩壊	台風15号(Typhoon Goni)の通過により、北部のベンゲット(Benguet)州マンカヤン(Mankayan)の鉱山で崩壊が発生、作業員宿舎を直撃し、16名が亡くなった。
9月14日	アメリカ	土石流	アメリカ西部のユタ(Utah)州ヒルデール(Hildale)で鉄砲水が発生、道路を横過し、通行しようとした車数台を巻き込んだ。これにより20名が死亡、1名が行方不明となった。鉄砲水は水深50cmほどの赤茶色の泥流だったが、流速が速く、車を押し流した。